

自民党憲法改正推進本部事務局長の磯崎陽輔首相補佐官に、憲法改正への考えを聞いた。

磯崎陽輔首相補佐官



インタビューに答える自民党憲法改正推進本部事務局長の磯崎陽輔首相補佐官

―なぜ今、憲法改正か。

現行憲法は、主権が制約され

り組むか。

―自民党として改憲にどう取

た占領中に連合国軍総司令部

党改憲草案と実際の改正は違

(GHQ)の指示で作られ、自

う。改憲の国会発議には、衆参

主憲法ではない。プライバシー

両院それぞれの3分の2以上の

議員「3分の2」賛成求め

最大公約数を探る

権など新しい人権や、東日本大

賛成を得なければならぬ。多

震災のような緊急事態への対応

くの政党の理解が得られる最大

の規定がなく、時代にも合わな

公約数を見いだすことに尽き

い。現実のニーズに沿った改正

る。

を考えるべき時期だ。

―スケジュールは。

ポイントは来年の参院選だ。

改正に賛同する勢力が、どれだ

け議席を得られるかが課題とな

る。参院選以降に発議し、再来

年前半までに国民投票ができる

ようにしたい。

―改憲の順番は。

最初の改正は、多くの賛同を

得られる項目に集約される。緊

急事態条項の新設が、最大の項

目になるのではないか。2回目

以降では9条改正が一番大き

い。自衛隊や文民統制の規定が

必要だ。発議要件を定めた96条

の議論もしなければならぬ。